

大阪公立大学 専任教員募集要項

〔獣医学研究院・獣医学研究科・獣医臨床科学分野・小動物臨床科学領域外科系〕

2026 年 7 月 27 日

人事委員会

大阪公立大学では、下記のとおり専任教員を募集します。

1	募集人員	准教授または講師 1 名	
2	所 属	獣医学研究院・獣医学研究科・獣医臨床科学分野	
3	研究分野の内容	獣医臨床科学分野（小動物臨床科学領域・外科系）	
4	職務内容（予定）	教育	・ 担当授業科目（予定） （下記の担当科目につきまして、一部で主担当をお願いし、その他の多くの科目につきましては副担当またはオムニバス形式でのご担当をいただく予定です。） 大阪公立大学 〈獣医学部・獣医学科〉 獣医外科学総論、獣医手術学、獣医腫瘍学、軟部組織外科学、獣医麻酔学、獣医整形外科学、獣医感覚器病学、獣医消化器病学、伴侶動物外科実習、伴侶動物獣医療実習 A～F、伴侶動物夜間・救急医療実習、臨床基礎実習、獣医学演習、獣医卒業研究 等 〈獣医学研究科・獣医学専攻〉 獣医科学特別演習 1～3、獣医科学特別研究 1、2 等 〈国際基幹教育機構〉：初年次ゼミナール、等 大阪府立大学 〈生命環境科学域・獣医学類〉 獣医外科学総論、獣医手術学、獣医腫瘍学、軟部組織外科学、獣医麻酔学、獣医整形外科学、獣医感覚器病学、獣医消化器病学、獣医麻酔・手術学実習、総合臨床、臨床基礎実習、獣医学演習、獣医卒業研究 等 〈生命環境科学研究科・獣医学専攻〉 獣医臨床科学特別演習 A～C、獣医臨床科学特別研究 A～H、高度医療学特別講義 A、先端獣医学インターンシップ、先端機器特別演習 等 ※大学院・学部（学域・機構）における専門分野の教育及び基幹教育。 ※大阪府立大学の学生が在学中は、対応する教育についても担当させていただきます。

		研究	伴侶動物の外科系疾患に係わる病態解析、疾病の診断、手術、再生医療など、獣医外科学系の分野に関する幅広い課題に関する基礎・応用研究を行う。
		その他	・大学運営にかかる業務。 ・獣医臨床センターの診療業務（兼務）
		変更の範囲	・教育、研究、大学の管理運営の範囲
5	着任予定時期	2027 年 4 月 1 日	
6	勤務形態	常 勤（任期の定め：なし）	
7	給与・手当等	公立大学法人大阪の制度が適用されます。 https://www.upc-osaka.ac.jp/regulation/	
8	勤務場所	大阪公立大学 りんくうキャンパス	
	勤務場所 （ 変 更 の 範 囲）	法人の定める事業場	
9	応募資格	(1) 博士の学位を有する方 (2) 日本国の獣医師免許を有する方 (3) 獣医外科学系分野の伴侶動物診療に 5 年以上従事した経験があることが望ましい (4) 大学の管理運営に関する能力と熱意のある方 (5) 学校教育法第 9 条の規定する欠格事項に該当しない方	
10	応募書類	(1) 履歴書（本学指定様式 1 により作成してください）。 (2) 研究・教育業績等（本学指定様式 2 により作成してください）。 (3) 主要な論文 5 点以内の別刷り各 1 部（コピーでも可） (4) 主要な論文 5 点以内の概要（各 400 字程度、様式不問） (5) これまでの研究概要（2,000 字程度、様式不問）	
11	応募締切	2026 年 9 月 4 日（金）	
12	選考方法	(1) 1 次選考（書類選考） (2) 2 次選考（必要に応じて面接等をおこなう） ※ なお、面接等に要する経費は、応募者の負担とします。	
13	書類提出方法	・以下 URL より応募書類をご提出ください。 https://logoform.jp/f/xkUyd ・応募書類は 1 つの zip ファイルにまとめたうえで、zip ファイル名を「獣医学研究科獣医臨床科学分野所属教員応募書類+氏名」としてください。パスワードの設定は不要です。 ※ 提出書類に記載された個人情報は、教員採用選考の資料としてのみ利用	

		し、個人情報保護に関する法律に基づいて適正に取り扱います。
14	問合せ先	〔専門分野関係〕 大阪公立大学 獣医学研究院 大学院獣医学研究科 獣医学研究科長 担当者：山岸 則夫 Mail：nyamagishi.svs_at_omu.ac.jp（_at_を@に変更してください） 電話：072－463－5056（代表）
		〔募集全般〕 公立大学法人大阪人事委員会事務局 電話：06-6967-1824（ダイヤルイン）
15	その他	・本募集は、公立大学法人大阪が、「大阪公立大学」に勤務する教員として採用するものです。 ・大阪公立大学では、多様性の確保および国際化の理念に基づき、専門分野が合致し、同等の教育・研究業績があると認められる場合には、女性教員や外国人教員の積極的な採用に取り組むこととしています。 ・伴侶動物外科学系に関する学術知識と診療技術を有し、参加型臨床実習を精力的に行い、当該分野についてアジア圏を中心とした国際交流にも参画できる方を求めています。